

第3回あり方検討委員会

-戸河内診療所の方角性-

1. 戸河内診療所の基本情報

	安芸太田戸河内診療所
診療日	月曜日～金曜日（祝日・年末年始を除く）
受付時間	8時00分～11時30分、14時30分～16時30分（木曜日18時30分まで） 金曜日午後休診
標榜科目	内科
診療機能	外来診療のみ
住所地	〒731-3810 山県郡安芸太田町大字戸河内 8 0 0 – 1
アクセス	安芸太田病院から、車で約15分 広島電鉄、石見交通、安芸太田町役場前バス停より徒歩 2 分



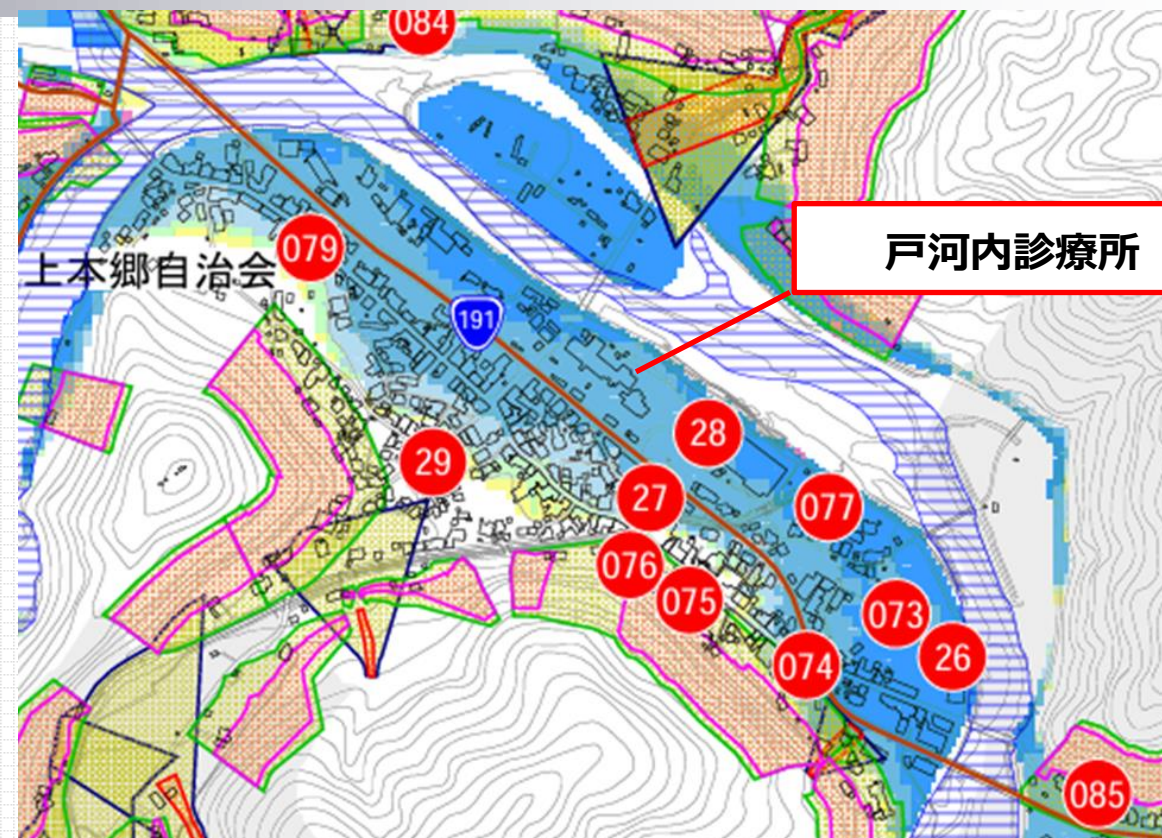
1. 戸河内診療所の基本情報

(1) 敷地概要

所在地	大字戸河内字中坪800-1
敷地面積	3,694.6m ²
浸水想定区域	2～5m

(2) 建築概要

構造・階数	鉄筋コンクリート造 地上4階塔屋1階
延床面積	
1階	診療所：1,007m ²
2～3階	サポートセンターふれあい (その他高齢者住宅、通所介護 事業所)：2,627.26m ²
竣工	1980(昭和55)年
改修	2009(平成21)年耐震改修済



出典：安芸太田町防災マップL2(広島県2022年1月)

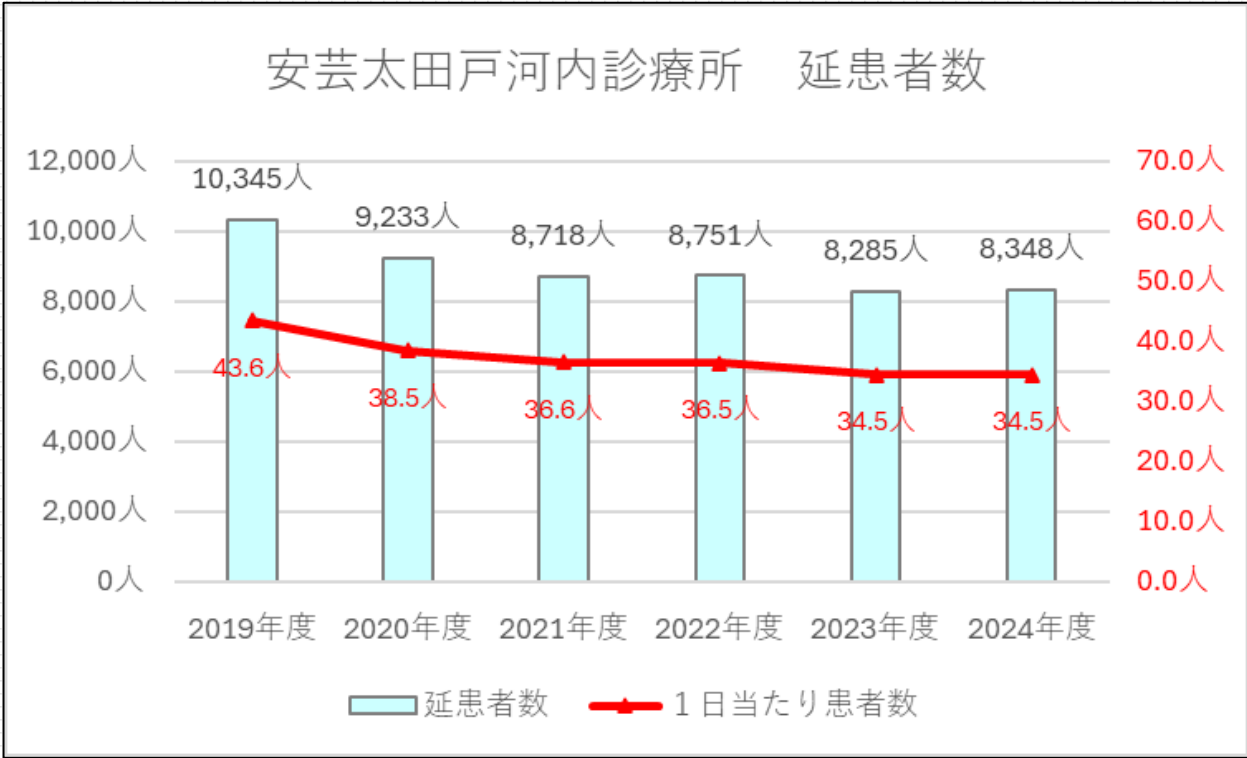


建築耐震性上は継続使用可能であるが、一般的に鉄筋コンクリート造の構造躯体の耐用年数は60年程度であり、15年後の2040年には耐用年数を迎える。

2. 戸河内診療所の実績

- 受診実患者数は2019年度から2020年度にかけて低下し、2021年度以降では回復傾向であるため、受診実患者数の低下は、**コロナ禍の影響が大きい**と推測される。
- 受診実患者数は2019年度以上に増加している一方で、受診延患者数は年々低下している。**患者一人当たりの受診回数が低下**していると推測される。
- 一人当たりの診療収益は7,000円前後**で推移しており、年間医業収益の低下は受診延患者数の低下が中心である。
- 安芸太田町の人口は年々減少しており、**受診実患者数も今後は減少していく**と推測される。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
受診実患者数	1,013人	842人	917人	928人	1,072人	1,083人

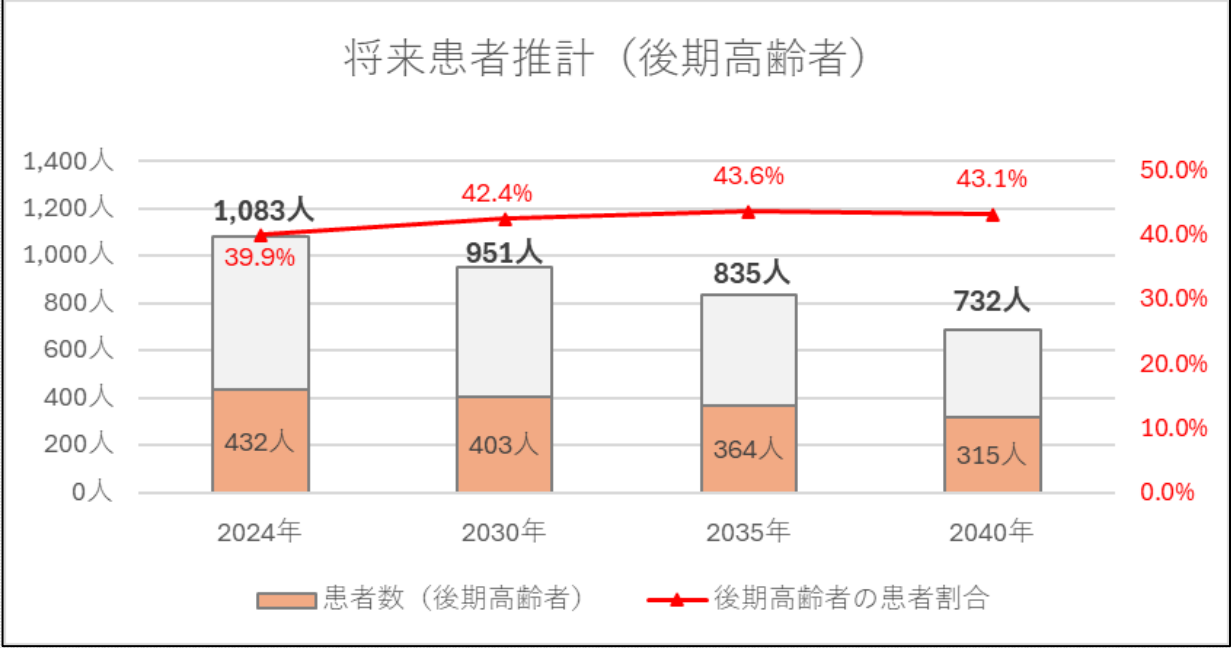
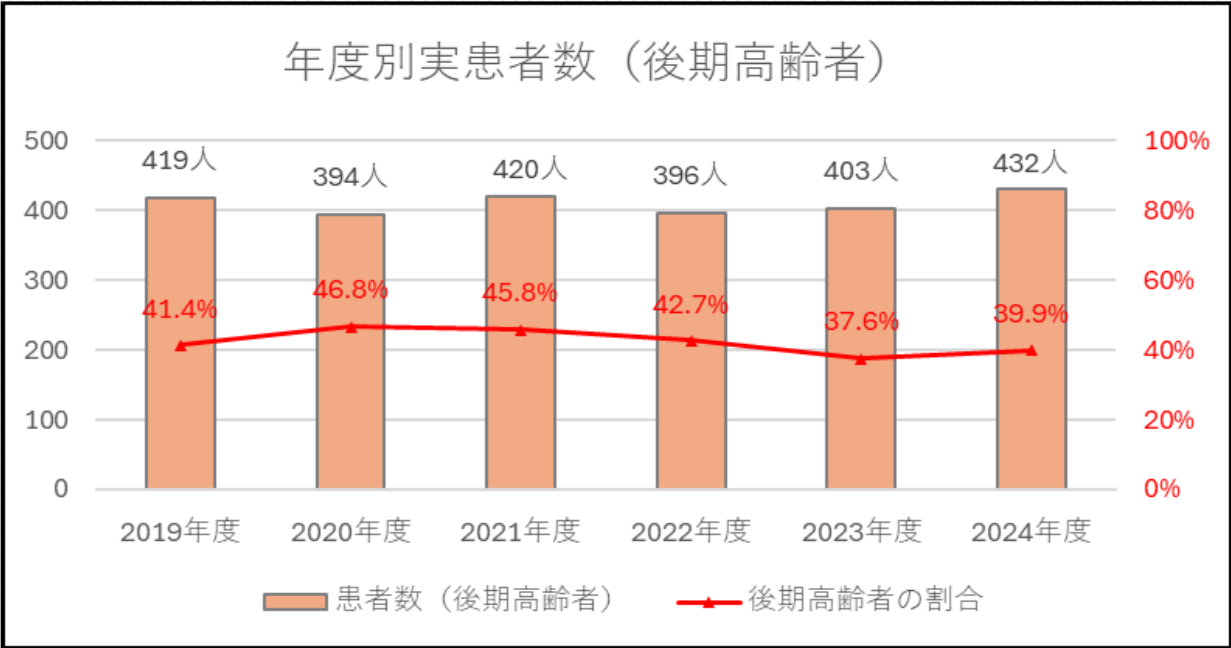


出典：戸河内診療所レセプトデータ、安芸太田病院受領データ

3. 戸河内診療所の後期高齢受診者の推移と将来推計

- 2024年度における**75歳以上**の後期高齢者（運転免許に認知機能検査が義務付けられる）は、**戸河内診療所受診者の39.9%**を占める。
- 後期高齢者の患者数は、**2040年には315人に減少（約27%減）**すると推測される。

年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
実患者数	1,013人	842人	917人	928人	1,072人	1,083人



出典：人口問題研究所『都道府県・市区町村の男女・年齢（5歳）階級別将来推計人口』，戸河内診療所レセプトデータ

4. 戸河内診療所のみを受診している患者と通院手段



<戸河内診療所のみを受診している患者>

- 2024年度に戸河内診療所を受診した患者は1日あたり34.5人であり、**その内13人（37.7%）が戸河内診療所のみ**を受診。

2024年度		診療所受診患者	
1日あたり患者数		34.5人	100%
内訳	戸河内診療所のみを受診	13人	37.7%
	安芸太田病院も受診	21.5人	62.3%

出典：戸河内診療所レセプトデータ、安芸太田病院レセプトデータ

<2024年度もりカーの利用実績>

- 降車・・・月平均52件（1日当たり2.6件） 乗車・・・月平均57件（1日当たり2.8件）
- 現状はもりカーの利用率は低く、ほとんどの受診者が、自家用車・徒歩での来院、もしくはサポートセンターふれあいの利用者であると推測される。

もりカー実績	2024年 5月	2024年 6月	2024年 7月	2024年 8月	2024年 9月	2024年 10月	2024年 11月	2024年 12月	2025年 1月	2025年 2月	2025年 3月
戸河内診療所 降車	56	43	53	62	57	61	69	60	46	60	58
戸河内診療所 乗車	59	57	51	65	42	73	75	56	49	57	45

出典：安芸太田町受領データ

5. 戸河内診療所の損益の推移



戸河内診療所 財務推移

単位：百万円 年次は「年度」

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
外来収益	80	78	82	82	78	75	76	67	60	56	52	48	46	49	43	43
その他医業収益	14	16	16	14	14	15	15	14	14	13	13	13	17	15	15	15
医業収益 合計	94	94	98	97	92	90	91	81	74	69	65	61	63	64	58	59
薬品、診療材料費	12	12	14	12	13	13	15	14	12	11	11	9	8	8	8	10
給料手当等	66	63	52	53	52	49	49	49	47	47	44	44	42	42	36	34
法定福利費	20	18	14	15	15	7	7	7	7	7	7	7	7	8	6	6
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3
光熱水費	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	8	7	8
委託料	12	10	7	8	10	7	5	5	5	4	5	4	4	6	4	4
退職手当組合負担金	0	0	0	0	0	4	4	4	4	4	4	2	2	2	0	0
雑費（消耗品、修繕等）	6	6	7	11	11	7	7	4	4	4	3	3	3	3	3	10
減価償却費	3	2	3	2	1	4	4	7	5	9	9	8	8	6	2	1
医業費用 合計	125	122	105	111	110	102	105	98	94	97	91	86	85	86	70	75
医業損益	-31	-28	-7	-14	-18	-13	-14	-17	-20	-28	-26	-25	-22	-22	-12	-16
他会計交付金等	44	44	39	43	40	20	21	15	15	14	14	15	16	1	7	8
その他医業外収益等	0	3	4	4	4	7	8	6	6	8	8	8	9	8	6	4
医業外費用等	1	3	2	2	2	12	4	2	4	2	2	3	2	2	2	2
最終損益	13	16	34	31	24	2	10	1	-4	-7	-5	-4	2	-15	-0	-6

出典：安芸太田病院受領資料

コロナ交付金の影響あり

- 65千円

規模縮小や費用圧縮のため医療機器等の設備投資を抑制しているが、赤字が続いている。

- 現診療所長の退職後は**大学病院等からの医師派遣が難しく、医師確保が困難**となる可能性がある。このため、今後の患者数の減少や医師確保の見通しを踏まえ、医療の効率化の観点から、安芸太田病院への診療機能の集約を前提に、**診療所は廃止**する方向で検討してはどうか。



論点①…患者への影響を最小限に抑えつつ、円滑な移行を可能にするため、人員確保の状況を踏まえつつ、**診療機能の段階的な縮小**を行うことについてどう考えるか。

論点②…診療所の廃止に伴う**安芸太田病院への通院手段**をどう考えるか。